

平成30年度学校評価 保護者からの意見・要望について

2学期に実施した学校評価アンケートで、たくさんの貴重なご意見・ご要望をいただき、ありがとうございます。主なご意見・ご要望に関して、本校の取り組み・対応状況等について、以下のとおり報告いたします。

1 服装・髪型や遅刻等の指導について

「年次によって服装や髪型の指導や登校時間に差があるのではないか」というご指摘を、今年度も複数いただきました。

本校では、生徒たちに端正で清潔な身だしなみや時間を守るといった基本的な生活習慣をしっかり身につけさせるため、全校統一した基準を設けて指導しています。そのための効果的な指導方法を工夫していく中で、年次やクラスや教師によって、あるいは対象生徒によって指導の細かい手法やアプローチが違ってくることがあります。しかしながら、そのことで生徒が不公平感や不信感を感じることがあるとすれば逆効果であり、我々も生徒も望むことではありませんので、ご意見を参考にさらに改善して参りますので、ご理解のうえご家庭でもご協力をお願いします。

また、登校時間は8時30分までに教室に入ることによって統一していますが、全年次とも5分前行動を推奨し、早めの登校を促しています。今では遅刻する生徒がほとんどおらず、落ち着いた状態で朝学習に入ることができる大変良い状態になっています。

2 学校からの情報提供について

「行事等についての連絡が来ない」「行事予定等をメール配信してほしい」「台風等での登校有無の連絡がほしい」「進路や系列選択の情報がほしい」などの意見がありました。

年度始めに、PTAカレンダーと年間行事予定表を配布し、年間スケジュールをお伝えしているほか、各行事ごとの案内や、進路通信、年次ごとの通信等も生徒を通じてプリントをお渡ししていますが、保護者に届かないことがしばしばあるようです。できるだけ、ホームページにもプリントを掲載するなど情報が届くよう工夫して参りますが、保護者の皆様も引き続きお子様との綿密な情報交換に努めてくださるようお願いいたします。

気象状況による登校の有無に関しては、本校は列車通学生が少ないこともあり、よほどのことがない限りは登校することを基本原則として、各自が情報収集して状況判断するように指導しています。もちろん「安全の確保」が第一であり、決して無理はしないようにしなければなりません。学校が休校措置を決定した場合は、ホームページや緊急メール配信でお知らせしますが、学校側が全て判断し、生徒はその指示だけに頼るといことは好ましいこととは思いません。安全確保には十分配慮しつつ、生徒が自分で情報収集し、判断・行動できる力を養うことができるよう、適切な情報提供を工夫して参ります。

3 スマホの使用について

スマホの長時間使用、いわゆるスマホ依存症が社会的問題になっていることから、本校では、「登校後はスマホの電源を切り個人ロッカーにしまう。放課後は、生徒玄関付近と校舎外で使用してもよい。」と指導しております。

また、最近では生徒同士のトラブルには、必ずと言っていいほどスマホとSNSが関与しています。ツイッターなどのSNSに文書や画像を投稿する際の注意点を、機会あるごとに伝えていますが、近年、SNSを巡る若者同士のトラブルが多いことから、ご家庭においても指導をお願いいたします。県教育委員会のサイバーパトロール等により、学校や個人が特定できる書き込みや、交通違反や非行が疑われる書き込みがあった場合は、当該生徒を呼び出して指導しています。

なお、スマホの使用に関してご家庭の特別な事情等がある場合はご相談下さい。

4 部活動について

部活動のあり方についてのご指摘が複数ありました。

部活動は、生徒を成長させる貴重な場であることから、本校では重視し参加を推奨しています。部活動への取り組みが、学校全体の活性化や本人の進路開拓にもつながります。最近では、硬式野球部・ハンドボール部の応援や、演劇部公演の全校鑑賞などの場面が、学校への帰属意識や一体感を醸成することに大きく貢献しています。

しかし最近、社会全体でも部活動のあり方に関して問題視される場面が多くなりました。昨年、スポーツ庁や文化庁からのガイドライン、青森県教育委員会からの指針が出されたことから、本校では、これらを基に新しく「部活動の指針」を策定いたしました。これには、より一層合理的で効率的・効果的な活動を推進するため、適切な指導や休養日等の基準について盛り込んであります。近日中に保護者の皆様にもお知らせすることとしており、4月からはこの「部活動の指針」に基づいて活動することになっていますので、ご理解とご協力をお願いします。

5 通学時のバス、冬時間について

「通学バスの本数が少なく不便」などのご意見がありました。

本校の周辺には様々な商業施設があり、ある程度のバスの本数はあるのですが、生徒が通学方法を自転車通学からバスに切り替える冬期間は大変混雑します。このため、青森市交通部では、今年度の冬期間、朝と夕方のバスを増便する社会実験を行っています。今冬の利用状況を見て、来シーズンから本格的に運行するかどうかを検討することにしていくようです。

数十年前は生徒数も多かったため、各方面から学校までの専用バスを貸し切りで運行していましたが、現在は生徒数も減ったためにその方法だと費用負担が非常に高額になることと、公営のバスがある程度の本数運行されるようになったことから、本校専用バスは運行しておりません。

また、「冬季の登校時間を遅らせてほしい」のご意見もありました。冬期間は荒川通りの渋滞が激しくなることからのご意見かと思いますが、夏と冬で時間を変えることに社会全体がなじんでいないことや、放課後の部活動などに影響を与えることなどから、そのような対応は考えておりません。時間に間に合うように冬は1本早いバスに乗る、などの工夫をお願いします。

なお、始発のバスに乗っても間に合わないなどやむを得ない事情がある場合はご相談下さい。

6 冬期間の校内・廊下の寒さについて

毎年「冬期間の校内・廊下が寒い」という趣旨のご意見があります。

本校の校舎は、40年以上前の建物で冬は冷え込みます。また、ボイラーは更新後20年以上を経過していますが、昨年度と今年度の修理により、比較的問題なく稼働しています。

また、昨年度全ての教室にFF式ストーブを設置したことにより、ボイラー暖房だけで寒い時はストーブ対応もできるようになりました。さらに今シーズンは、教室棟廊下6ヶ所にブルーヒーターを追加で設置したので、廊下の寒さをだいぶ緩和することができました。

なお、冬期間は黒か紺のカーディガン・セーター・ベストの着用を認めているほか、夏服期間でも天候不順の時は冬服を着用できますので、気温に応じた服装も工夫してほしいと思います。

今後とも教育活動及び教育環境の充実を図って参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。ご不明の点、ご要望等がございましたら、遠慮なく学校へ連絡してください。

(青森中央高等学校 017-739-5135)